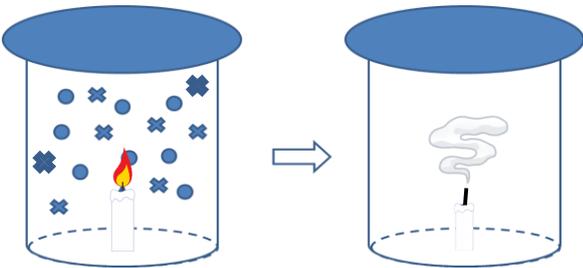
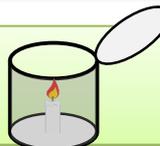
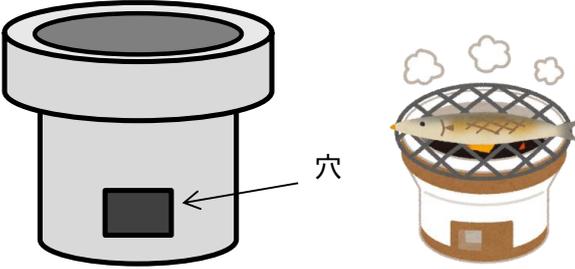


対象学年	小6	教科	理科	難易度	★★★★
単元	ものの燃えかた(教科書:大日本図書 p.10~27)				
課題	ものが燃えたときの空気の変化を知ろう。				
課題の説明	<p>ふたのある容器の中に火のついたろうそくを入れ、ふたをした。時間がたつとろうそくの火が消えました。容器の中には空気が入っていて、空気には酸素(●8個)と二酸化炭素(×8個)含まれています。火が消えた後の容器の中の空気の様子を●と×を使って書いてみよう。</p> 				
解決のヒント	ものが燃えるためには空気の何が使われて、それは何に変わったかな？				
参考資料	●と×の個数は、実際の空気中に含まれる量とはちがいます。				

対象学年	小6	教科	理科	難易度	★★★★
単元	ものの燃えかた(教科書:大日本図書 p.10~27)				
課題	より長く燃える方法を考えよう				
課題の説明	<p>ろうそくを長く燃やし続ける方法を考えるため、空き缶とろうそくを使って、AくんとBくんが話あっています。</p> <p>Aくん ? ろうそくを長く燃やすためには、空き缶をどんなふうに工夫すればいいのかなあ？</p> <p>Bくん 風で消えないように、こうすればいいんじゃないかな？ ふたをあけておく</p>  <p>Aくん こうの方が、もっと風をふせげるよ。ストーブとかで見たことある気がする。 上からかぶせて、下に大きな穴をあける</p> <p>しかし・・・どちらもうまく燃えつづけませんでした。</p> <p>Aくん これが、一番燃えたね！上と下に穴をあけるのが一番よかったね。 上からかぶせて、上下にいくつも穴をあける</p> <p>でも、はじめの2つの方がたくさん空気が入るはずなのに？ なんでだろう？燃えるのは、空気が必要だって習ったのに・・・</p> <p>と、Bくんは考えています。あなたなら、なんと答えてあげますか？</p>				
解決のヒント	穴のあき方のちがいをくらべて、何が変わるのかを考えてみよう。				

対象学年	小6	教科	理科	難易度	★★☆☆
単元	ものの燃えかた(教科書:大日本図書 p.10~27)				
課題	火を起こす道具の工夫について考えよう。				
課題の説明	<p>肉や魚などを焼く七輪。七輪には図のように穴が開いています。なぜこの穴があるか理由を書きましょう。</p> 				
解決のヒント	<p>①ものが燃えるためには、何が必要か考えよう。 ②穴がある時と、ない時では何が違うか考えてみよう。</p>				

対象学年	小6	教科	理科	難易度	★★★★
単元	ものの燃えかた(教科書:大日本図書 p.10~27)				
課題	水を使わないで消火する方法を考えよう。				
課題の説明	<p>あるとき、天ぷらを作っていると、天ぷら油に火がついてしまいました。大変です……</p> <p>このとき、絶対にやってはいけないことは、「水で火を消すこと」です。これは、水によって逆に油が飛び散り、さらにひどくなり大変キケンです。</p> <p>では、どうすれば安全に消火できるか考えてみよう。また、なぜその消火方法がよいと思ったのか考えよう。</p> 				
解決のヒント	ものが燃えるためには空気(酸素)が必要です。逆に空気(酸素)がなくなれば、ものは燃えません。				

対象学年	小6	教科	理科	難易度	★★★★
単元	ものの燃えかた(教科書:大日本図書 p.10~27)				
課題	BBQ(バーベキュー)をする時の『上手に火を付ける手順書』を作成しよう。				
課題の説明	<p>家でBBQをするとき、炭に火がつかないと肉が焼けず困りますよね。</p> <p>どんなことに気をつけて、どんな手順にすれば上手に火をつけることができるかを考えてみよう。</p> <p>オリジナルの手順書ができたら、おうちの人たちとBBQするときに試してみよう。(割りばし、新聞紙、うちわ等、簡単に手に入る物を使うこと。)</p> 				
解決のヒント	<p>【手順書の項】(例)</p> <p>① どんなことに気をつけるとよいか。(火が付きやすいのは、どんなときか。)</p> <p>② 割りばしや新聞紙、炭をどんな形で置けばよいか。</p> <p>③ うちわ等を使うときは、どのように使えばいいか。</p> <p>④ 火をつけるための順序はどうか。</p> <p>⑤ 火の消し方や片付け方は、どうすれば安全か。</p> <p>図なども使って、だれが見てもわかるようなものを工夫してつくってみよう。</p>				